

自閉症関係の資料

○アンケート調査の結果

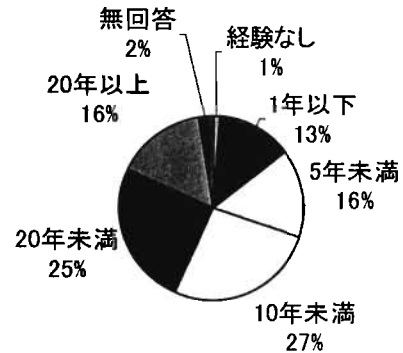
○自閉症の名称についての新聞記事

※ 研修会参加者の内訳

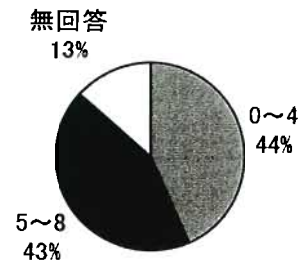
| | | 職種 | | | 合計 |
|----|-----|-------|-------|------|--------|
| | | 保健師 | その他 | 無回答 | |
| 会場 | 旭川 | 19 | 33 | 1 | 53 |
| | 横浜 | 1 | 8 | 0 | 9 |
| | 大阪 | 32 | 18 | 0 | 50 |
| | 福岡 | 0 | 29 | 1 | 30 |
| | 名古屋 | 31 | 41 | 0 | 72 |
| 合計 | | 83 | 129 | 2 | 214 |
| | % | 38.8% | 60.3% | 0.9% | 100.0% |

※ 以下の集計は、保健師のみ（83名）を対象とした。

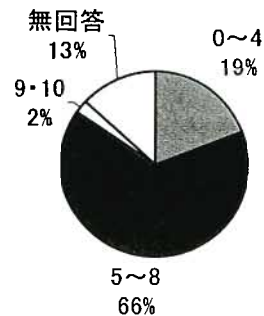
1. 乳幼児健診の経験は何年ですか？



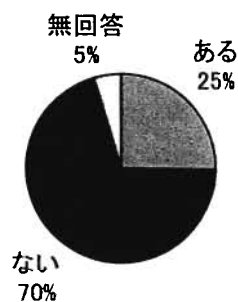
2. 1歳半健診で自閉症・広汎性発達障害のお子さんである可能性があることを把握できる自信がどのくらいありますか？（10段階評価）



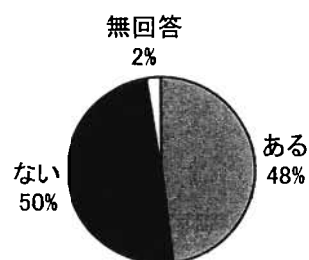
3. 3歳健診で自閉症・広汎性発達障害のお子さんである可能性があることを把握できる自信がどのくらいありますか？（10段階評価）



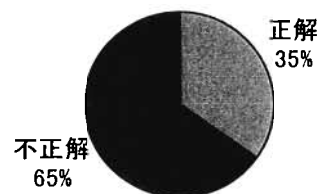
4. 自閉症・広汎性発達障害の診断に関して、診断に必要な知識やスキルの研修を受けたことがありますか？
（ある場合は、場所、具体的な内容、時間数など記入ください。）



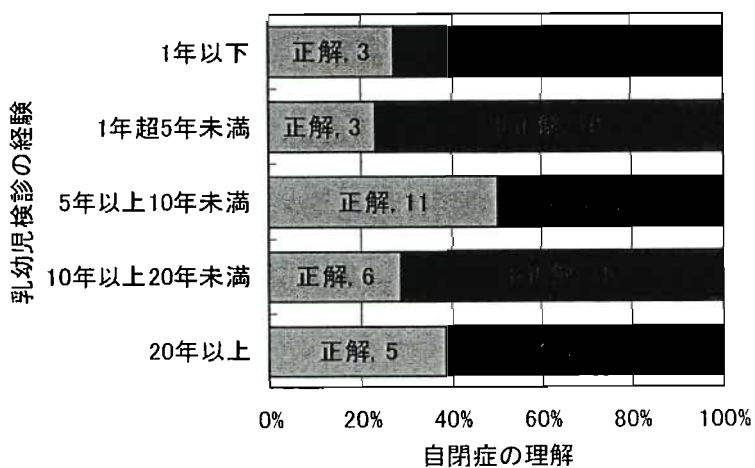
5. 自閉症・広汎性発達障害の支援に関して、支援に必要な知識やスキルの研修を受けたことがありますか？



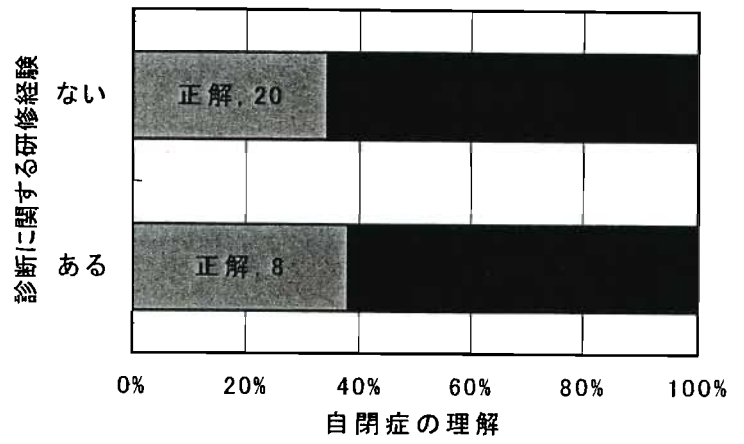
6. 自閉症・発達障害とは、どういう障害だと思いますか？



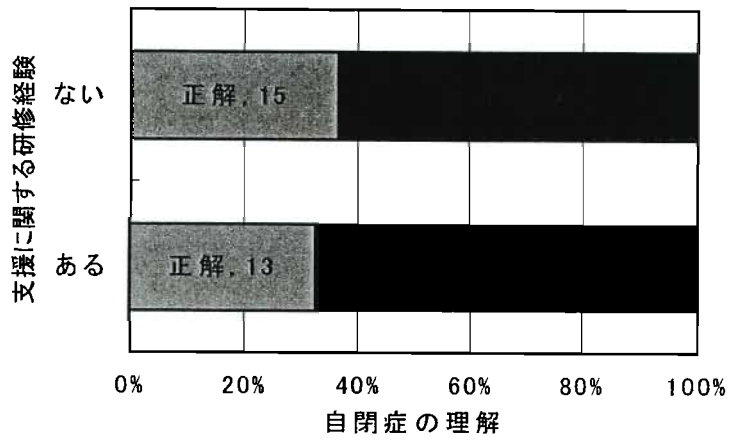
7. 乳幼児検診の経験年数（質問1）と自閉症の理解（質問6）の関係



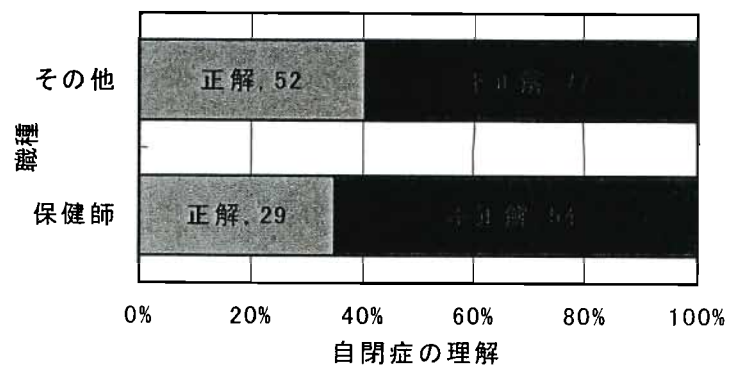
8. 診断に関する研修経験と自閉症理解



9. 支援に関する研修経験と自閉症理解



10. 職種と自閉症理解



(第三種郵便物認可)

病名を変更したい

痴呆症の病名が認知症に変わるなど、病名に対する社会的な関心が高まっている。今後、議論が起ころうな自閉症や1型糖尿病を通して、病名変更の意味を考えてみたい。
(佐藤 光展)

だが、周囲との意思疎通の難しさから孤立を強いられることばあっても、本来は自己を閉ざし続ける障害ではない。このため、以前から病名をめぐる議論が続いている。

自閉症

自ら閉ざす「連想

横浜市総合リハビリテーションセンター副センター長(児童精神科医)の清水康夫

さんは「自閉症は病名を変えた方がいいと考える医師は少なくない。しかし、変更するにしても確かなものが見つかからないのが現状」と

指摘する。
同協会副会長の氏田照千さんは「病名変更よりも、まずは自閉症を正しく理解してもらうことが大切」としながらも、「病名のために理解が進まないという意見もあり、今後、議論を深めたい」と話す。

糖尿病

尿いじめの理由に

一方、小児患者も多い1型糖尿病でも、病名をめぐる議論が起きている。生活習慣とは関係がなく、膵臓でインスリンが作られなくなるために発症するが、偏食など子育ての問題と誤解されやすいから

象にもなる」と話す。
このため、同会は「インスリン欠損症」という病名を提案し、インターネットのサイトなどで用いている。味岡さんは「病気の原因を的確に伝え、偏見を持たれない病名にしました」と語るが、「国際的には1型糖尿病が一般的なため、学会の理解を得るのは難しい」という。

誤解 招きかねない……



職員と一緒に、お菓子づくりに取り組み自閉症の人たち。何より、正しい理解が求められる(東京都世田谷区の「おちろか学園」で)

認知症

あいまいさ残る

病名変更は、「ハンセン病」や「統合失調症」など、偏見や誤解をなくすために変更されるケースや、「C型肝炎」

のように、医学の進歩で詳しい病態が分かり、明確に分類されるケースなどがある。

変更には、診療報酬請求などに用いる標準的な病名

「呆け老人をかかえる家族の会」高見国生代表理事

「呆け老人をかかえる家族の会」(会員8000人・本都京都市)は、6月から新たな会名の検討を始める。代表理事の高見国生さんに、これまでの経緯と見通しを聞いた。

新たな会名を検討中

25年前の会の発足

家族の苦勞 伝わるものに

「ぼけ」は侮蔑的だという見方があり新聞記事でも自

が一般的でしたが、私たちは「ぼけ」に加えて「痴」

軽症の患者が加入するようになって家族だけの会ではなくなりました。

一覽の更新や、法令の書き換えなど多くの作業を伴ったため、厚生労働省や関連学会との連携が欠かせない。

清水さんは「毎べつな意味があった痴呆症の変更は評価できるが、認知症という意味があいまいなものになったことには疑問も残る。人名やアルファベット表記の病名もありますが、本当は症状を的確にあらわすのが好ましい」と話す。

立困難な老人を抱える家族の組織」などと、会名を書き換

医学の進歩で「ぼけ」が早

えられた時期もありました。

「ぼけ」が早